

2009 年度 小委員会活動成果報告

(2010 年 2 月 11 日作成)

小委員会名	集合住宅の遮音性能評価水準検討小委員会		主 査 名：濱田 幸雄 就任年月：2007 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会 (音環境運営委員会)		委員長名：久野 覚 主 査 名：田端 淳
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2013 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 負荷騒音・暗騒音の大きさをパラメータとした遮音性能評価水準，評価手法の構築 ・ 集合住宅に暮らすための社会的共通認識を確立するための情報発信。 		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：2010 年度に公募を実施する予定 濱田幸雄(日本大学)、羽染武則(東急建設)、岩本毅(三井住友建設)、古賀貴士(鹿島建設)、大脇雅直(熊谷組)、木村和則(小林理研)、山下恭弘(信州大学)、坪井政義(大林組)、藤本一壽(九州大学)、大内孝子(東横学園女子短期大学)、田端淳(大成建設)		
設置 WG (WG 名：目的)	なし		
2009 年度予算	50,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	1. 特になし
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 集合住宅室内の発生音の現状を把握するために、日本建築学会関係小委員会及び関連学会の研究部会のメンバーにアンケートを送付した。回収の遅れにより、詳細な解析までは到達していない。 2. 当初 2009 年度に計画していた室内発生音の 24 時間測定は次年度に先送りすることとした。
委員会活動の問題点・課題	1. 他の小委員会（固体音小委員会，音環境アカデミックスタンダード小委員会など）との連携を図るだけでなく，効率的な作業分担を図る必要がある。

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。